

## 大学生等による地域課題の解決支援(萩地域)

### 《萩市小川地区その④》

#### 1 実施主体

平山台果樹生産組合

#### 2 連携大学

広島修道大学三浦、富川ゼミ

#### 3 第4回支援活動：平成26年3月7日(金)

#### 4 参加者

地元組合員等 13人、大学生 5人

#### 5 支援活動(研修会)の概要

##### (1) 「地元あるきツアー」プランの報告について

###### ① 三浦ゼミ生の報告：「リンゴのもぎもぎもぎとり教室」

###### (ツアープラン)

「集合10:30→果樹園でリンゴ狩り(一人3つまで)→収穫したリンゴでアップルパイ作り(3つのうち1つだけ使って作る)→昼食→地域の魅力をまとめたスタンプラリー→すべてのスタンプを集めると、お土産(リンゴとアップルパイと交換)→解散」

###### (ツアープランのコンセプト)

○伝統食がたくさんあること。

○種類が豊富で、収穫期間が長いので、1年を通して同じ場所でたくさんの食べ物に出会えること。

○普段都会に住んでいる人たちが出来ないことがここでは体験できること。

○ポイントは、時間に縛られずにゆっくりとしてもらうこと。

###### ② 地元のメンバーの報告

○萩の桃源郷へ集まれ

○平山台で最高級ブドウ“ピオーネ”を

○第1回利きりんご全国大会

##### (2) 三浦人間環境学部長による講評

○平山台に来て、最初印象的だったのは、私達に対する地元の皆さんの受入が、「広く、優しく、温かかった」ことであった。そのようなところが、地元散策ツアープランの企画に表れたら良いと思う。

○学生達といろいろな地域に入って、地域の魅力とか活性化に関わっているが、“何が大切か”ということ考えた時、最終的に「その場所での生き様」そのものが大切であると感じた。その地において、どう生きていくか、そのこと自体が他から見るとすばらしいこと、「魅力」と思う。いうなれば「生き様の一部」を普段、都会ではなかなか体験できない、都市部に住んでいる者に提供していただけるとうれしい。